

(1)

会報

緑のまち

第17号 平成8年3月27日

発行 財団法人 日野市環境緑化協会

〒191 東京都日野市神明1-12-1 日野市役所内
電話 0425(85)1111 内線265~7



(平成7年度植物写真展応募作品より)

暖かくなったら、おもてへ出ましょう。春はからだも心もみんなウキウキ、子供達も元気いっぱいです。

写真は、日野中央公園です。市役所お隣りの園内は、サクラのほかにケヤキ、カシ等みどりがあふれています。レンギョウやユキヤナギの花を見ながら食べるお弁当は、ひと味がいます。

1996年度 事業計画・収支予算

1. 緑化推進に関する普及事業

- 春・秋の緑化月間行事の実施
- 会報の発行
- 作文集の作成
- 緑の募金運動
- 炭焼き教室の開催など



みどりの日



炭焼き教室

3. 緑化推進に関する調査研究

- 日野市に適するワイルドフラワーについて



緑化見本園入口

2. 緑化推進に関する事業活動

- 公共施設の花弁植付け
- 公園、緑地等維持管理
- 花の里親、里子運動など



公共施設の花弁植付け



花の里親、里子運動

4. 受託事業

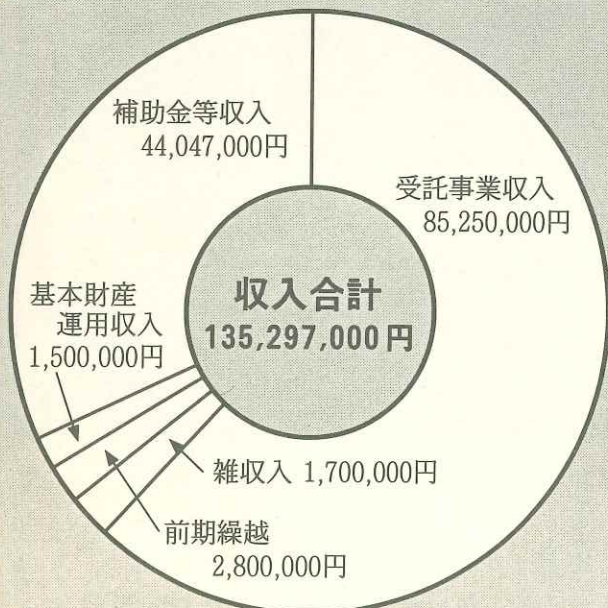
- 菊花栽培事業
- 公園清掃等管理事業
- 信託緑地等保全管理事業など



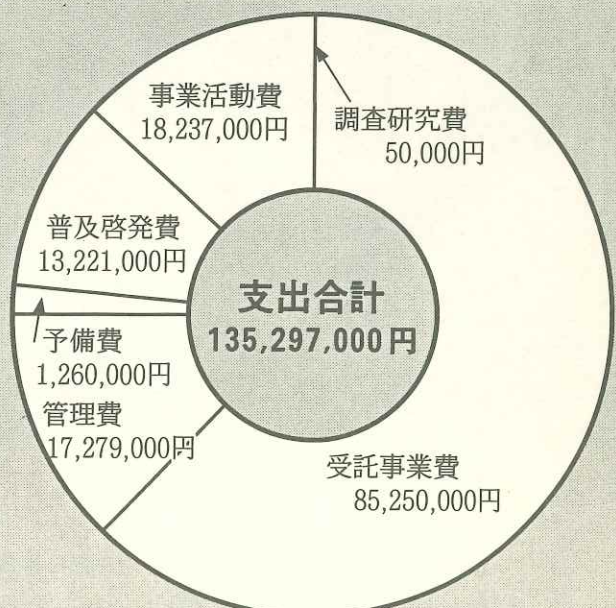
菊花コンテスト

※写真はいずれも1995年度のもの

収入の部



支出の部



「西宮へ、みどり復興募金」にご協力を

理事長 中村 敏夫

昨年一月十七日、全く突然に阪神・淡路大震災が発生し、一瞬のうちに六千三百余人の尊い命と、四十万所帯以上の人々が住みかを奪われました。毎日、テレビの画面に映し出される悲惨な状況を見ては、涙しました。

あれから早くも一年が過ぎました。しかし新聞報道によれば、災害の復興は、いまだしです。ましてや、失われた「みどり」の復興についてはほとんど手つかずといっても過言ではありません。

わたしども日野市環境緑化協会では、阪神大震災の被災地西宮市および西宮市民に対し、「みどり復興」のための募金運動を四月から来年三月までの一年間、日野市民を対象に行うことを決めました。(震災直後に、日野市は職員二十人とゴミ収集車を西宮市に派遣しました。)

当協会の中に「西宮へ、みどりの復興募金の会」(略称「西宮G募金会」)をつくり、理事、評議員十名が世話人になり、この運動の核として、

奉仕いたします。

募金方法の一例をあげますと、ご自宅(あるいは職場)で、手持ちの貯金箱や空き缶に、貯金(募金)していただき、来年三月に世話人が集金のご連絡をいたします。

お預かりしたお金は、最終的には西宮市役所・花とみどりの課に、苗木や草花の購入・植え付け資金として運用していただくこととなります。どうか多数の日野市民のみなさまの、「西宮G募金会」へのご協力を、切にお願い申し上げます。

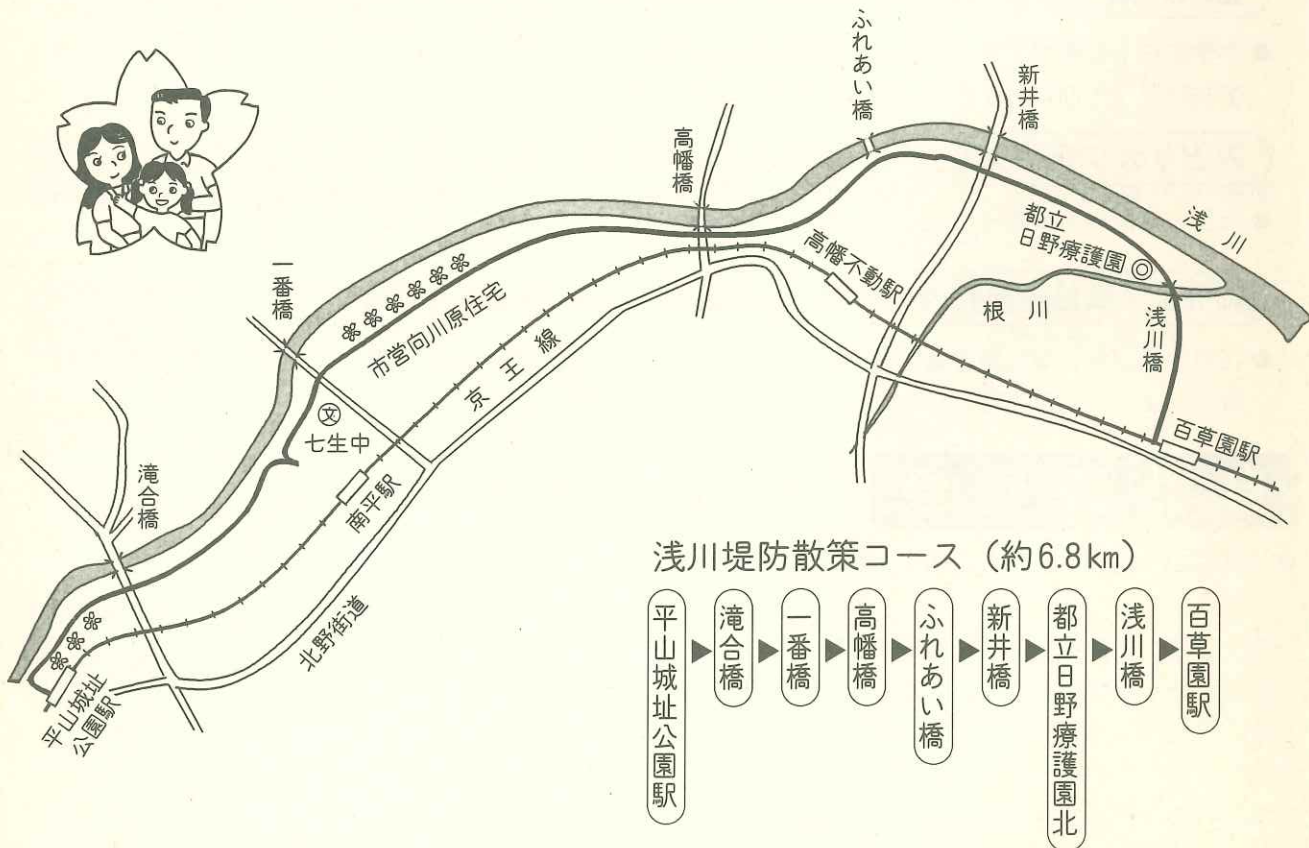
なお詳細については、当協会事務局か、下記世話人へご連絡下されば、くわしく、ご説明いたします。

〈世話人〉

- 百草・西村セキエ 〇一八〇六
- 神明・窪田 之喜 〇三〇七九
- 同・曾根フジ子 〇三九七〇
- 日野本町・橋本 榮萬 〇一八五三
- 同・熊沢 政明 〇一六八四
- 多摩平・中村 敏夫 〇一四四六
- 東豊田・中川 英子 〇三〇〇九
- 同・片岡 尤二 〇二〇六六
- 西平山・佐藤 才市 〇一七九六

春の散策おすすめコース

桜咲く春の散策はいかがですか。浅川沿いのこのコースは、のんびり歩くにはうってつけです。ちょっと距離はありますが疲れたら駅もすぐ近くにありません。平山城址公園駅と市営向川原住宅の付近は、桜がとてもきれいです。



ご参加ください。

～5月11日

くらしに花とうるおいを!

主催 日野市
(財)日野市環境緑化協会

園芸講習会

4月25日(木) 午後2時～4時 市役所5階 505会議室

- 「春の花壇づくり」講習会を行います。

苗が豊富に出回るこの時期は、花壇づくりにピッタリです。プランターや鉢植えもふくめて花を長く咲かせるコツやベコニア、ニチニチソウなどの使い方を学びましょう。

- 定員 50人(申込み多数の場合は抽選)
- 講師 東京都農業試験場研究員
- 申込み 4月10日(金)必着 往復ハガキに住所、氏名、電話番号を明記のうえ、〒191 日野市神明1-12-1 日野市役所内 (財)日野市環境緑化協会まで

みどりの日

4月29日(祝) 午前10時～午後3時 日野中央公園

- みどりの日にちなみ、みどりの大切さとその保護について考えていただくよう、ミヤコワスレの苗の無料配布やみどりのリサイクル等を行います。

苗の無料配布

午前10時と午後1時

- 小学生以上の方にミヤコワスレの苗を先着順に配布します。
配布時間(午前10時から 1,300人、午後1時から 700人)

みどりのリサイクル

午前10時30分～ 日野中央公園

- 市民の皆様からお寄せいただいた苗や球根をお配りします。大切に育ててください。

即売会・風船の配布

午前10時～午後3時 日野中央公園

- 花卉生産組合、東京南農業協同組合による苗木、鉢花、園芸資材等の即売、市政図書室による図書の販売、また、幼児先着200人に無公害風船の配布(雨天中止)をします。

自然観察会

5月11日(土) 午前9時～正午 (雨天中止)

- 日野市の一番西に位置する西平山地区を散策します。野草や鳥を見ながら浅川と緑の畑に沿って歩きましょう

- 集合 京王線長沼駅 午前9時
- 解散 中央線豊田駅 正午
- 定員 先着 50人
- 指導 日野の自然を守る会会員
- 申込み 事前に電話で (財)日野市環境緑化協会 (☎85-1111 内線265)へ



春の緑化月間行事に

期間＝平成8年4月1日

テーマ：まちに緑と清流を！

家庭緑化の日

4月7日(日) 午前10時～午後3時 日野中央公園ほか

- 家庭にみどりを増やしましょう。今回は鮮やかさの中にも日本的な風情を感じさせてくれるクレマチスの紫、ピンクの2本セット、または夏花壇の定番といわれるグラジオラスの大玉5球セット(赤、黄、白等)いずれかを無料配布します。

苗・球根の無料配布

午前10時～ (日野中央公園のみ午後1時から配布)

- 小学生以上の方にクレマチスの苗またはグラジオラスの球根セットを先着順に配布します。
- 日野中央公園(午前10時から1,000袋、午後1時から700袋)
- 東京南農業協同組合七生支店(500袋) ○旭が丘中央公園(200袋)
- 市民の森スポーツ公園、平山地区センター、日野第八小学校、万願寺8号公園(各200袋)

園芸相談

午前10時～午後3時 日野中央公園

- 園芸に関するご相談をこの機会に。菊、花、植木の専門家がお待ちしています。

即売会・風船の配布

午前10時～午後3時 日野中央公園

- 花卉生産組合、東京南農業協同組合による苗木、鉢花、園芸資材等の即売、市政図書室による図書の販売、また、幼児先着200人に無公害風船の配布(雨天中止)をします。



盆栽・山野草展

4月15日(月)～17日(水)

午前9時～4時(17日は午後3時まで) 市役所1階101会議室

- 市内の愛好家が丹精こめて育てた盆栽・山野草、小さな春をぜひ御覧ください。

生け垣講習会

4月17日(水) 午後1時30分～4時 緑化センター

(日野中央公園南側)

- 生け垣は街の表情をやわらげてくれるとともに、防災上からも見直されてきました。専門家が実技指導とともに、作り方や手入れについて、わかりやすく説明いたします。
- 定員 先着 30人
- 講師 日野緑進会会員
- 申込み 事前に電話で 公園緑政課(☎85-1111 内線361)へ

地域緑化・清掃の日

4月21日(日) 午前9時～正午 市内の公園、緑地、グリーンベルト等

- 自治会、老人クラブ、こども会等の皆様のご協力により、市内の公園、緑地、グリーンベルト等を対象に一斉清掃を行います。
- 21日に実施できない地域は、前後の都合のよい日をお願いします。
- 当日はそれぞれのリーダーの指示に従ってください。

緑の町にするため

日野市立南平小学校
松井 未帆

私が住んでいる日野市は都内に比べ緑が残っている所だと思います。でもそんな日野市も、少しずつ確実に緑が減ってきています。

私の身の回りでも、その現象は起きています。例えば、私の学校が毎年使っていた田んぼも、今はもう洋服店になってしまいました。たくさんいたカエルやいなごやヒルなどは、いったいどこへ消えてしまったのか、考えると心配になってきます。植物や動物と人間が共存していくというのは、そんなに大変なことなのでしょうか。

木を切り倒したりするということは、結果的には、私達人間の暮らしを不便にしていることと同じです。なぜなら植物は、みんなが知っているように、二酸化炭素を吸い、酸素を出して空気をきれいにしてくれたり、暑い日には木陰になってくれたり、人間の心を穏やかにしてくれたり、いろいろな役に立ってくれているからです。

環境破壊が地球的問題になり、緑と共存しようと努力している人が増えてきてます。小さな小さな緑の命、失われそうな命を貴重な物とし守るため、日野市では、自然公園や中央公園に野草園を作ったり、大きな木を保存樹にしたり、家に生けがきを作る時補助をしたりしています。私はまだ小学生なので、そんなに大したことはできませんが、

木や草花を大切にしようと思ふ気持ちからはじめます。だから、やれることから始めます。例えば、花や木を庭に植えたり、学校で田んぼや畑の世話を積極的にしたり、この作文も一つの方法です。一番大切なのは、一人一人の心がけだと思います。日本中の人が緑の大切さを考え心かければ、緑は絶対に減りません

緑に囲まれた美しい環境で人間と植物が共存して暮らす、こんな町が私の理想の町です。失った緑をもと通りにするのは簡単なことではありませんが少しでも緑を増やしていきたいです。

消えていく自然

日野市立日野第一小学校
友田 景子

私の家の近くには、なし園がたくさんあります。なし園のあみのところには毎年、夏になるとたくさんさんの朝顔が花をさかせます。セミのぬげがらもたくさんついていきます。しかし、近くのなし園の一つは三年前になくなり、今では駐車場となっています。

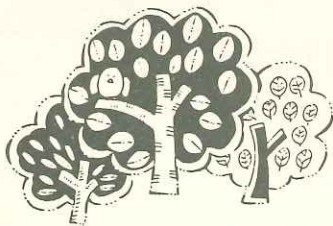
家の近くにこういう風に自然がなくなっている所がいくつかあります。まず一つは田んぼが少なくなりました。春になると、レンゲ畑で、友達

とレンゲをつんで遊びました。そこもいつのまにかなくなり、家が建ち、道路ができました。また、去年の冬に雪が降ったとき、友達と雪遊びをした所が今ではマンションが建っています。

マンションが建つ前は、春になると梅が咲くきれいな所だったのに残念です。こんなことはまだたくさんあります。

私は、住んでいるだけで自然をよごしています。洗ざいを流すことで水辺の植物や生き物にえいきょうを与えているかもしれない。しかし、人間も生活しなくてはいけません。私達と植物、生物が共に生きていくことが大切だと思います。だから、小さい緑でも大切にすることが必要です。庭にある木を、大事に育てることが、緑を増やしていくことなのです。

植物は人間の言葉がわかるといわれています。気持ちをこめて育てれば植物も元気に育ちます。人が生きていくには、酸素がなくてはなりません。しかし、その酸素は植物



私達からの提案

市内の小学校6年生を対象に、緑に関する作文を募集しましたところ、732編の応募がありました。この中から10編を選考委員の先生方を選んでいただきました。今回は、16号に掲載できなかった5編を紹介いたします。

からでているのです。植物がなくなったら、酸素がなくなり、人は生きていけないのです。お互いに大切な仲間です。緑が全部なくなってしまう前に、日本中、世界中の人、一人一人が努力し、協力すれば、地球の自然を守ることができるのです。日野は、都心に比べれば、まだたくさん緑があります。黒川公園は、木がたくさんあるので私の大好きな所です。日野の緑を大切にしていきいたいと思っています。

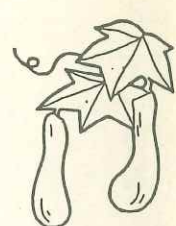
へちまを植えた今年の夏

日野市立日野第八小学校
永井 優太

ぼくの父は、五月になると野菜のなえを買ってきて、庭にミニ菜園を作っています。今年は、ぼくもきゅうりのとなりへちまを植える事になりました。ぼくが買って来たへちまは、葉が三枚ぐらいしかついていないとても小さいなえでした。きゅうりの方がとても元気で成長も早く、どんなのびているのに、へちまはちっとも大きくなりません。だんだん心配になってきました。きゅうりの方は、葉も大

きくなり、つるものび、父が数日おきにしのをつぎたしたり、つるがからまるように、ビニールテープをはっていくのがおいつかないほどでした。そのとなりでヘチマは、なんとなくさみしそうにそれでも少しずつは、つるをのばしていききました。きゅうりに黄色の花が咲き、チビきゅうりがどんでんできてきました。数日たつとりっぱなきゅうりになり、母は毎朝二〜三本ずつ取って父の好物の浅づけを作っていました。

七月も終わりになると、あんなに緑のいきおいのよい葉をつけていたきゅうりがかれました。こんどは、がぜんヘチマが成長しはじめ、つるもペランダの上までのび、緑の大きな葉をいっぱいつけ、黄色の花の数も毎日ふえてきました。父とぼくで受粉してけつきよく二つ実がなりました。今年の夏も暑くてたいへんでしたが、夕方少しの風にゆれている葉を見るとすずしい気持ちがあると母がよく言っていました。ぼくもそう思いました。緑というのは、夏の風りんのようだと思います。来年の夏も今年よりもつと緑をふやして気分だけでも、すずしい夏にしたいと思いません。



私達の緑を守るために……

日野市立日野第七小学校
松浦 純子

私は、小学一年生の夏休みに、川崎から日野に引っこして来ました。川崎に住んでいたころは、緑や公園がほとんどなく、まわりを見まわしても住宅ばかりだったので、のびのびと遊ぶことができませんでした。ところが、日野に来てみると、公園などの遊ぶ場所ばかりか、緑もたくさんあるので、とても理想的でない町だなあと思いました。日野には、黒川公園や野鳥公園が、そして、となりの立川には、昭和記念公園という緑の多い大きな公園もあります。陽気がよくなると、家族全員でお弁当を持って、よく昭和記念公園に出かけます。森林浴をしたり、サイクリングを楽しんでいたりして過ごす休日、気持ちがよくて最高です。こ

んな時、やはり、私達人間にとって緑は絶対に欠かせないものであり、気持ちにゆとりを与えてくれる大切なものであると、強く感じます。

そんな自然にめぐまれたすばらしい環境に住んでいる私達が、緑をこわさないようにするためには、いったいどうしたらよいのでしょうか。大きなマンションなどの建物が立ち並ぶことによって、自然は、どんどんこわされつつあります。でも、それは、私達一人一人の力では、どうすることもできません。なぜならば、町が発展していくためには、仕方のないことだからです。

それでは、個人的に努力できることが、何かないでしょうか。緑、すなわち自然を、維持するためには、水をなるべく汚さないようにきれいに保つことも大切なことだと思います。そして、私達が何気なく見ている小さな草花さえも、大切にしている気持ちを持っていけば、少しでも緑を維持することができのではないのでしょうか。そんな個人個人の努力を、積み重ねることによって、大きな成果となり、自分達の住む町の緑を守っていくことができたら、どんなにすばらしいことでしょう。



私の家の庭

日野市立平山小学校
比嘉 英倫子

私の家の庭には、「もみじ」「サルスベリ」「ひのき」「さくら」「ヒイラギ」「まき」「つげ」などの木があります。その中で私が好きなのは、サルスベリという木です。サルスベリは、不思議な木で、冬になると死んだようにかれています。ここまでは、さくらなどの落葉樹と同じなのですが、サルスベリは、ほかの木々が青々とした、葉を仕上げらせても、サルスベリだけは、まだそのまま、七月ごろようやく芽を出して、八月にはきれいなピンク色の小さい花を咲かせます。その花がなぜきれいなのかというと緑色の葉と、ピンク色の花が似合っているからです。

空間が多くなり、さみしい気持ちになってしまいます。だから、早く春になって、花が咲いたり、新しい芽がでくのがまちどおしくなります。緑があるときには、あたりまえと思っていた緑も、冬になって少なくなると、とても大切なものだなと思うようになります。

いま酸性雨などで木がかわたり、木が切られたために砂ばくになってしまった所もあるけれど、私が住んでいる日野市は、環境が良く、木もたくさんあるから、良かったと思います。それでも四、五年前には、私の家から、古い桜や梅の木が見え、「家にいても、お花見ができるわね」と家族で話すほどきれいな花が咲きほこっていました。けれども、その木もおされ、今は、アパートなどが建てられています。梅の木は、実を取るとき、そばで見ていると、とてもおもしろかったし、風がふいて、花びらが舞う様子はとてもきれいだったので切りたおされてしまったのが、とても残念でした。小さいころどろんこになって遊んでいた山も、もうありません。それでも、日野市はまだ自然が多いので、この自然だけでもこわさないようにしたいです。

「緑の募金」にご協力を!

〈4月1日〜5月31日〉

緑の募金運動が始まります。この運動は、これまで「緑の羽根募金」として毎年、自治会、老人クラブを始め、多くの方々にご協力をいただいてまいりました。募金は、公園、学校、社会福祉施設の緑化などに使われ、緑を守ったり増やしたりするために大きな役割を果たしてきました。

また、これは、人類共通の財産である「緑」を守り育てるため、より大きな運動となるよう議員立法により法律が作られたためです。

住み良い暮らしに「緑」はなくてはならないものです。緑豊かな日野の街づくりのため、新たにスタートした「緑の募金」運動へ皆様のご理解とご協力をお願いします。

街角だより

孫サボテン

西平山にお住まいの伊藤さんがお持ちのサボテンは、日野市役所・多摩平支所の入口にある大きなサボテンの孫に当たるそうです。

今から20年位前に一カケいいただき、それを丹精込めて育てたところ、2階に届きそうなほど大きな、近所でも評判のサボテンになりました。ざんねんながら今年の冬なくなってしまうましたが、その子供はしっかり生きています。早く大きくなるといいですね。支所のおばあさんサボテン



?も、とても元気で、今年もたくさんの黄色い花を付け、訪れる人を楽しませてくれることでしょう。

みどりのリサイクル

球根や苗の提供を

4月29日(祝)のみどりの日に行う「みどりのリサイクル」のために、家庭で余っていたり、不要になった球根や苗の提供をお願いします。

市役所2階の(財)日野市環境緑化協会まで持って来られない場合は、取りに伺いますのでご連絡ください。

- 電話受付期間 4月10日(水)まで ※土曜・日曜を除く。
- 球根・苗の受付期間 4月15日(月)〜19日(金)
- 提供・問合せ先 緑化協会事務局 ☎85・1111 内線265

作品をお願いします

緑の写真展と我が家の緑自慢展

11月の「秋の緑化月間」中に緑の写真展「日野の四季」を開催します。いろいろな季節の作品(四ツ切り)をお待ちしています。

また、同時に「我が家の緑自慢」展も行います。日頃、鉢花、花壇、垣根などサービス判の写真に一言添えてお寄せください。

- 問合せ先 緑化協会事務局 ☎85・1111 内線265

ご利用ください

花とみどりの健康相談

「観葉植物の元気がないが」「庭木の剪定方法は」「菊づくりで注意するところは」「など園芸についてわからないことがあったら「花とみどりの健康相談」をご利用ください。花卉、庭木、菊に分け、それぞれの専門家が皆様の相談をお受けします。

日野中央公園の散策を兼ね、お気軽にお出かけください。今年度は、下記の日程で行

います。

- 5月4日(出) 6月1日(出)
- 7月6日(出) 8月3日(出)
- 9月7日(出) 10月5日(出)
- 5月〜10月の第一土曜日に緑化センター(日野中央公園内)で、午前9時〜午前11時40分まで受け付けます。
- なお4月の相談は7日(日)家庭緑化の日に合わせて、日野中央公園内で午前10時〜午後3時まで行います。

新入学児童に鉢花を贈ります

市内の公立小学校に入学される児童に、入学記念として今年度は「ペチュニア」を贈ります。

花に親しみ、すこやかに成長されますようお願いいたします。

公園清掃グループが増えました

前号で公園清掃グループを募集したところ、平成8年度からは、30のグループにお願いますことになりました。新しい清掃グループも張り切っていますので、従来の清掃グループ同様よろしくお願いたします。

地域の公園は、地域の人の手できれいにし、利用する人もマナーを守り、みなさんが気持ち良く過ごせる公園にしましょう。

編集のあとに

毎年、この時期になると桜の美しさと対称的にゴミの山が気になります。市内にも桜の名所がいくつもあります。ゴミはなるべく出さぬよう、また、出たゴミは持ち帰りましょう。